代表者会議【当日資料２】

茅ヶ崎市自立支援協議会　報告書

件　　名	令和８年度　第１回　事業所間交流・情報発信部会報告書
日　　時	令和８年６月１１日（木）　１０時００分～１１時３０分
場　　所	茅ヶ崎市役所分庁舎５階　コミュニティホール A 会議室
事 務 局	生活相談室とれいん
出 席 者	■増藤　純（当事者） ■山田　絵美（当事者） ■川邊　洋平（茅ヶ崎市障害者施設連絡会） □田島　淳一郎（茅ヶ崎市・寒川町居宅介護事業所連絡会） ■作間　晴夫（茅ヶ崎市地域作業所連絡会） □伊藤　久美（茅ヶ崎・寒川ホーム連絡会） □石塚　敦士（茅ヶ崎・寒川ホーム連絡会） ■和田　健士（茅ヶ崎市・寒川町障害児者通所事業所連絡会） ■伊藤　良師（茅ヶ崎市・寒川町障害児者通所事業所連絡会） ■角田　三千代（茅ヶ崎市障害者団体連絡会 □松下　亜弥子（茅ヶ崎市障害者団体連絡会） ■棚橋　利恵（茅ヶ崎市相談支援事業所連絡会） ■尾辻　涼（茅ヶ崎市障がい福祉課） ■安田のり子、榎園　貴子（事務局：生活相談室とれいん） オブザーバー　茅ヶ崎市障がい福祉課　大畑氏 基幹支援センターNALU　竹崎氏 ■出席　□欠席
議題・検討内容	1. 開会 事務局より 2. 部会長選出 ・立候補がなかったため、部会員の互選で作間委員に決定した。 ・副部会長については、前年度に引き続き、増藤委員が立候補され、決定した 3. 今年度の取組みについて 〇令和8年度　活動予定表より ・昨年度から話をさせていただいているが、放課後等デイサービスが多く出来ている。 ・横の繋がりが出来ることによって利用者の権利擁護が守られていくのではないか。 ・活動は年4回を予定している。平日の午前中が活動日。 ・事業所間交流と当事者意見交換会のイベントを実施していくことを確認。 4. 事業所交流会について 〇別紙資料の企画書（案）をもとに実施内容を検討。 ・日程に関して、8月の開催は放課後等デイサービスの参加が難しい。

	昨年度同様、フレッシュマン対象と中堅どころの管理者対象との2部構成が良い。 ・昨年度、出席された方から好評だったが年度終わりに開催するとつながりが持てないという意見があった。 ・フレッシュマンは入職5年以内の方を中心としていく。放課後等デイサービスの職員は8月では出席が難しいので、9月後半の午前中にする。 ・管理者・サービス管理責任者より現場の職員に参加してもらう。 ・放課後等デイサービスの研修はオンラインが多く、直接会うことは少ないので、対面の機会は貴重。 ・退職した人の意見も聞きたい。 ・就労の事業所同士で会う機会は少ない。 ・どんなことを中堅の皆さんに学んでもらいたいと思っているか。 ・みんなで読める本の勉強会・ラッピング講習会（過去にあった）・他の事業所がどのようなサービスを提供していて、どんな活動をしているのか。 ・他の事業所の苦労話はこのような場でしか聞けない。 ・昨年参加されたフレッシュマンから自分が関わっている児童が成人になってどのようなサービスを利用していくのか知れたのが良かったと仰っていた。 ・フレッシュマンの会では、棚橋委員につつじ学園の利用から放課後等デイサービス→就労→グループホーム→週末は移動支援を利用等、事例に沿って成長の流れでの利用サービスの説明をしていただく。 ・自己紹介のシートを手元で書いてもらい、話し合うときの資料にしてもらう。 事業所名・種別・どのような仕事をしているのか・苦労している事・どんなことにやりがいを感じているのか・これから取り組みたいこと等 5. 情報発信にかかわる課題について（意見交換） 〇伝えたい情報について 〇受け取る情報について ・頭で理解できているけれど書けない。文字が読めない。 ・タブレットならできる事もあるのに。 ・読めても文字の意味が分からない。「ふりがな」だったら問題ないではない、文字の意味が分からない。 ・認定調査について、パソコンを使って自分で答えられるようにしてほしい。 などの意見があった。 6. まとめ・閉会 ・次回開催予定は8月の日中なので、放課後等デイサービス所属の部会員より出席が難しいと意見あったため、会議終了後、メールで情報を伝えることとした。 ・次回部会の会場は7月に事務局より連絡する。